

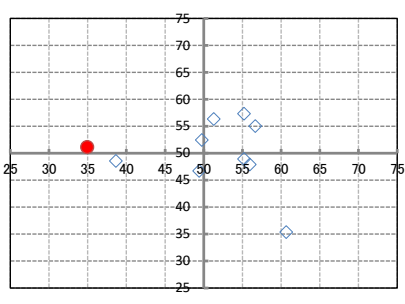
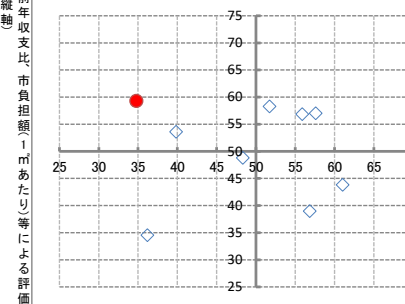
リストNo		09-001		施設コード		02516	
利用用途別分類(施設分類)		保健施設					
施設名		保健所					
所在(町名・番地)		中央区鴨江二丁目11-2					
利用者の圏域別分類等		市域			非中山間地域		
財区分		行政財産		公用財産		その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部保健所保健総務課			課長名	密岡 宏行	
	施設	健康福祉部保健所保健総務課			課長名	密岡 宏行	
設置根拠(法)		地域保健法					
条例		浜松市保健所条例					
設置目的		地域保健法第5条第1項に基づき設置					
主な利用者		市民、事業者等					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		8:15 ～ 17:15					
建物 情報	総延床面積	2,129.55		土 地 情 報	土地面積		15,720.98
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積		15,720.98
	地上階数(主要建物)	3			うち借地面積		0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.79					
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	1982/2/10					
	経過年数(主要建物)	42			代表地目(現況地目)		官公庁用地
用途地域		第一種中高層住居専用地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	2,422	2,298	1,202
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	245	266	1,895
	収入計(A)	2,667	2,564	3,097
支出 (千円)	人件費	14,160	14,160	12,740
	物件費(委託料)	11,910	11,023	10,988
	維持補修費(修繕費)	2,744	3,751	2,898
	物件費(光熱水費)	6,982	9,868	9,885
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	35,796	38,802	36,511
	行政コスト(BーA)	33,129	36,238	33,414
収支前年比		91.42	108.45	118.83
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		10,067	10,067	10,067
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,134,426	80,538	—	

主 な 改 修 履 歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2016	キュービクル入替工事	24,007			
	2013	空調設備改修工事	22,208			
	2013	消防設備改修工事	2,557			
	2009	太陽光発電設備設置工事(電気設備工事)	16,275			
	2009	太陽光発電設備設置工事(建築工事)	9,831			
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	09-002	口腔保健医療センター	市域		0.0	
そ の 他 の 分 類	18-066	旧保健所	地域		0.0	
	11-001	子どものこころの診療所	市域		0.1	
	08-002	鴨江保育園	生活		0.2	
	14-005	中消防署鴨江出張所・浜松第16分団	地域		0.3	
	15-104	西部中学校	生活		0.3	
	01-003	鴨江分庁舎	市域		0.4	
	07-004	かものこ放課後児童会	生活		0.4	
	15-014	鴨江小学校	生活		0.4	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	09-001	施設コード	02516	所管課	本庁	健康福祉部保健所保健総務課		
	施設名	保健所			施設	健康福祉部保健所保健総務課			
	人員数	正規職員(人)	87	会計年度任用職員(人)	54	再任用(人)	4		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	人々の心身の健康と生活を守る医療の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		地域保健法第5条第1項に基づき設置							
		主な業務内容	地域住民の健康の保持及び増進に関する業務(地域保健法第5条及び第6条)						
		主な利用者	市民、事業者等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	少子高齢化を受け、保健衛生業務拠点としての役割・ニーズが増大している						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	健康増進、QOLの向上に加え、災害・感染症等による健康危機管理ニーズが増大							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—	—	
			—	2022	—	—	—	—	
			—	2021	—	—	—	—	
		事業②	—	2023	—	—	—	—	
—			2022	—	—	—	—		
—			2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建物・設備が老朽化し、想定外の修繕や改修工事に伴う維持管理コストが増加している。また、耐震性能ランクⅡ(IS値0.79)であり、西隣に旧保健所棟ランクⅢ(IS値0.4)が接続しているため、耐震の観点からも施設の見直しが急がれる。令和2年3月、建物の敷地のほぼ半分が急傾斜地崩落危険区域内に含まれたため大規模改修や建替えには法的な制限がかかることとなった。							
	対応策	市公共建築物長寿命化方針及び同計画に基づき、大規模改修等の必要な対策を早急に行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	○	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	15,557	17,017	15,691	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	各用途で必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	保健(福祉)センターについては、民間介護サービス等を利用する高齢者の増加に伴う機能訓練事業の稼働率低下、また健康相談・保健指導の訪問指導への移行などにより、利用率が低下しています。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、地域の実情や利用状況を考慮する中で、類似事業との連携や関係団体とのネットワークを通じて、他施設への複合化、他施設の余剰スペースを活用した事業展開などについて検討します。保健環境研究所については、健康危機管理上必要な検査・試験を実施するための施設として健康で安心できる市民生活を確保できるよう、適切な維持管理を継続します。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	建物の老朽化が著しく、修繕及び改修工事費がかさむなどの課題を抱えており、施設のあり方を含めた検討を実施する。							

リストNo		09-002	施設コード		00743		
利用用途別分類(施設分類)		保健施設					
施設名		口腔保健医療センター					
所在(町名・番地)		中央区鴨江二丁目11-2					
利用者の圏域別分類等		市域		非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部健康増進課			課長名	渥美 雅人	
	施設	健康福祉部健康増進課			課長名	渥美 雅人	
設置根拠(法)		—					
条例		浜松市口腔保健医療センター条例					
設置目的		市民の歯科保健の向上に寄与するとともに市民の健康保持に必要な歯科医療を提供するため					
主な利用者		休日における救急患者等の市民					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		8:30 ～ 17:00					
建物情報	総延床面積	1,073.20		土地情報	土地面積	0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	4				うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-					
	建築年月日(主要建物)	1982/12/24			代表地目(現況地目)		
	経過年数(主要建物)	41					
用途地域		第一種中高層住居専用地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	17,268	14,939	14,389
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	80	84	369
	収入計（A）	17,348	15,023	14,758
支出（千円）	人件費	47,600	47,600	43,400
	物件費（委託料）	2,402	2,206	2,375
	維持補修費（修繕費）	913	184	484
	物件費（光熱水費）	1,933	1,448	1,823
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	52,848	51,438	48,082
行政コスト（B－A）		35,500	36,415	33,324
収支前年比		97.49	109.26	100.91
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	6,863
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	3,841	2,346	2,332
	開館日数/年	315	315	314
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2016	キュービクル入替工事	10,841			
	2016	空調設備改修工事	22,487			
	2015	ガス管入替工事(負担金)	1,408			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	09-001	保健所	市域		0.0	
その他の分類	18-066	旧保健所	地域		0.0	
	11-001	子どものこころの診療所	市域		0.1	
	08-002	鴨江保育園	生活		0.2	
	14-005	中消防署鴨江出張所・浜松第16分団	地域		0.3	
	15-104	西部中学校	生活		0.3	
	01-003	鴨江分庁舎	市域		0.4	
	07-004	かものこ放課後児童会	生活		0.4	
	15-014	鴨江小学校	生活		0.4	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	09-002	施設コード	00743	所管課	本庁	健康福祉部健康増進課		
	施設名	口腔保健医療センター			施設	健康福祉部健康増進課			
	人員数	正規職員(人)	4	会計年度任用職員(人)	7	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯にわたる健康づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の歯科保健の向上に寄与するとともに市民の健康保持に必要な歯科医療を提供するため							
		主な業務内容	休日救急歯科診療・心身障がい者(児)歯科診療・歯科健診・歯科相談						
		主な利用者	休日における救急患者等の市民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				市の口腔保健医療の要としての役割・需要が増大している。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				少子・高齢社会を迎え多様なニーズが増大する可能性がある。				
	特記事項				令和4年度に浜松市歯科口腔保健推進計画最終評価を行った。				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	2歳児歯科健康診査			2023	2,165	—	1,593
						2022	798	—	409
						2021	890	—	375
		事業②	休日救急歯科診療			2023	18,909	—	1,015
			2022	18,802	—	870			
			2021	18,811	—	967			
事業③		心身障がい者(児)歯科診療			2023	3,721	—	1,233	
					2022	3,002	—	1,077	
					2021	3,482	—	989	
事業④		—			2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)	課題	・建築後30年以上が経過し老朽化が進んでおり、修繕費が増加している。							
	対応策	・適切な施設管理のため、計画的に備品更新、及び設備・施設改修等を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
	民生導入	業務の公益性から民営化は困難と考える。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	33,079	33,931	31,055	1人当たりのコスト(円)	9,242	15,522	14,292
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	112,698	115,603	106,140
	1日当たり利用者(人)	12	7	7	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									

参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	各用途別で必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、地域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿化に取り組めます。					
	利用用途別分類毎の方向性	保健(福祉)センターについては、民間介護サービス等を利用する高齢者の増加に伴う機能訓練事業の稼働率低下で、また健康相談・保健指導の訪問指導への移行などにより、利用率が低下しています。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、地域の実情や利用状況を考慮する中で、類似事業との連携や関係団体とのネットワークを通じて、他施設への複合化、他施設の余剰スペースを活用した事業展開などについて検討します。 保健環境研究所については、健康危機管理上必要な検査・試験を実施するための施設として健康で安心できる市民生活を確保できるよう、適切な維持管理を継続します。					

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。

リストNo		09-003	施設コード		02514
利用用途別分類(施設分類)		保健施設			
施設名		保健環境研究所			
所在(町名・番地)		中央区上西町939-2			
利用者の圏域別分類等		市域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部保健環境研究所		課長名	山下 としえ
	施設	健康福祉部保健環境研究所		課長名	山下 としえ
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		行政部局の依頼による試験検査及び健康被害防止や緊急事態の解決のため調査・研究を行い、市民の健康と安全な生活を確保する。			
主な利用者		関係行政部局の担当職員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	3,325.35	土地情報	土地面積	2,999.12
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	2,999.12
	地上階数(主要建物)	4			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	－			
	建築年月日(主要建物)	1999/2/10		代表地目(現況地目)	宅地
	経過年数(主要建物)	25			
用途地域		工業地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		1,397,481	—	1,397,481	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	908,000	—	908,000	
	一般財源	489,481	—	489,481	
特記事項	—				



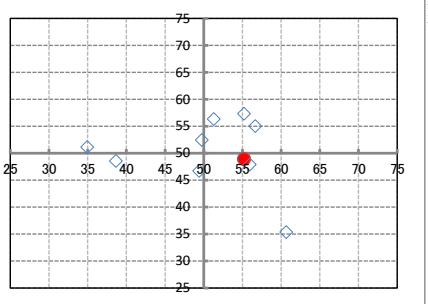
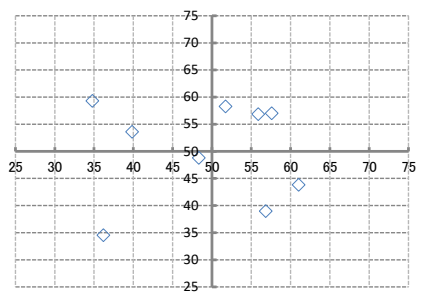
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	9	9	9
	収入計(A)	9	9	9
支出(千円)	人件費	169,400	170,200	173,000
	物件費(委託料)	26,764	24,764	21,298
	維持補修費(修繕費)	3,551	2,575	1,662
	物件費(光熱水費)	10,234	13,454	9,563
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	209,949	210,993	205,523
行政コスト(B-A)		209,940	210,984	205,514
収支前年比		99.51	102.66	102.71
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		28,711	29,930	30,217
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	189,121	701,822	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	動物室他12室空調設備改修工事	40,395	2019	3階揮発性物質試験室他1室空調設備改修工事	18,154
	2023	エレベーター更新工事	30,470	2018	外壁改修工事	26,091
	2022	微生物安全実験室他1室空調設備改修工事	25,237	2018	2階食品化学検査室他8室空調設備更新工事	25,261
	2021	空調熱源設備改修工事	19,338	2017	2階共同機器室空調設備改修工事	10,565
	2021	令和3年度 浜松市保健環境研究所ガス調整器更新工事	8,338	2007	無停電電源装置取替工事(電気設備工事)	5,775
	2020	2階食品分析調査室他10室空調施設更新工事	23,970	2006	増築工事	80,152

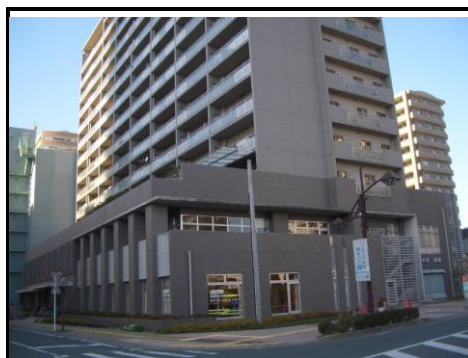
近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	12-003	食肉地方卸売市場	広域	0.3
	15-111	丸塚中学校	生活	0.6
	15-028	蒲小学校	生活	0.9
	07-027	ボプラの子放課後児童会	生活	0.9
	05-003	浜松アリーナ	広域	1.0
	24-002	茄子湯水機場	—	1.3
	14-041	浜松第14分団	コミュニティ	1.4
	03-031	蒲協働センター	生活	1.4



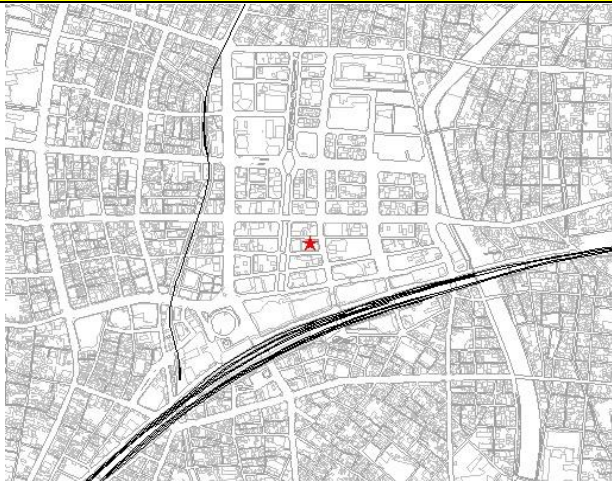
基本情報	リストNo	09-003	施設コード	02514	所管課	本庁	健康福祉部保健環境研究所		
	施設名	保健環境研究所			施設	健康福祉部保健環境研究所			
	人員数	正規職員(人)	23	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	保健予防と食の安全対策の推進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		行政部局の依頼による試験検査及び健康被害防止や緊急事態の解決のため調査・研究を行い、市民の健康と安全な生活を確保する。							
		主な業務内容	関係行政部局からの依頼にもとづく試験検査など						
		主な利用者	関係行政部局の担当職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		食の安全性、環境問題が重要視され社会的ニーズは増大している						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		新興・再興感染症等の発生、環境問題の複雑化でニーズは増大する可能性がある						
	特記事項		—						
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
					のべ募集人員	参加者数			
事業①		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③	—	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
事業④	—	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	①建業後20年が経過し、空調設備や付帯設備の不調や故障が発生している。							
		①空調設備や付帯設備について、計画的に順次更新していく。外壁の劣化については、長寿命化計画により平成30年度に改修工事を実施した。							
	対応策	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	63,133	63,447	61,802	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	各用途別に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。							
	利用用途別分類毎の方向性	保健(福祉)センターについては、民間介護サービス等を利用する高齢者の増加に伴う機能訓練事業の稼働率低下、また健康相談・保健指導の訪問指導への移行などにより、利用率が低下しています。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、地域の実情や利用状況を考慮する中で、類似事業との連携や関係団体とのネットワークを通じて、他施設への複合化、他施設の余剰スペースを活用した事業展開などについて検討します。保健環境研究所については、健康危機管理上必要な検査・試験を実施するための施設として健康で安心できる市民生活を確保できるよう、適切な維持管理を継続します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—		
当面適切な維持管理に努める。効率的な事務スペースの配置を不断に実施し、他施設との統合や複合化などによる有効活用を検討する。									

リストNo		09-004	施設コード		00025	
利用用途別分類(施設分類)		保健施設				
施設名		中央保健福祉センター(いきいきプラザ中央)				
所在(町名・番地)		中央区板屋町596				
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	健康福祉部健康増進課			課長名	渥美 雅人
	施設	健康福祉部中央健康づくりセンター			課長名	竹村 和枝
設置根拠(法)		地域保健法				
条例		浜松市保健福祉センター条例				
設置目的		市民の保健の向上と福祉の増進に寄与するために設置(浜松市保健福祉センター条例第1条)				
主な利用者		市民全般				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		8:30 ～ 17:00				
建物情報	総延床面積	1,136.07		土地情報	土地面積	1,258.02
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	1,258.02
	地上階数(主要建物)	14				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2001/2/28				
	経過年数(主要建物)	23			代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		商業地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	154,000	154,000	161,000
	物件費(委託料)	3,975	3,966	3,905
	維持補修費(修繕費)	2,001	604	304
	物件費(光熱水費)	2,207	2,693	2,158
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	162,183	161,263	167,367
行政コスト(B－A)		162,183	161,263	167,367
収支前年比		100.57	96.35	96.96
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		5,599	5,599	5,599
利用 状況	利用コマ数/年	838	747	824
	利用可能コマ数/年	3,402	3,402	3,388
	施設利用者数/年	8,345	7,563	8,015
	開館日数/年	243	243	242
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	333,999	151,182	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
その他の分類	10-002	ふれあい交流センターいたや(いきいきプラザ中央)	地域	0.0		
	19-004	観光バス公共駐車場	地域	0.1		
	04-002	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)	広域	0.2		
	12-001	アクトシティ浜松Cゾーン(展示イベントホール)	広域	0.2		
	03-001	アクトシティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コンgresセンター)	広域	0.3		
	19-001	駅北駐車場	地域	0.3		
	03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	0.3		
11-002	浜松市若者コミュニティプラザ	市域	0.3			
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	09-004	施設コード	00025	所管課	本庁	健康福祉部健康増進課			
	施設名	中央保健福祉センター(いきいきプラザ中央)			施設	健康福祉部中央健康づくりセンター				
	人員数	正規職員(人)	20	会計年度任用職員(人)	5	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	生涯にわたる健康づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		市民の保健の向上と福祉の増進に寄与するために設置(浜松市保健福祉センター条例第1条)								
		主な業務内容	健康診査、健康相談、健康教育等に関すること							
		主な利用者	市民全般							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測		ほぼ一定のニーズがあると予想される。						
	特記事項		併設した駐車場がなく、車を利用する市民にとっては不便である。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況		
								のべ募集人員	参加者数	
		事業①	親子すこやか相談:毎週2回(火・木曜日)96回実施。 ※のべ募集人数は、指導予定人数を記載。				2023	1,728	1,400	1,342
							2022	1,751	1,400	1,313
							2021	1,734	1,400	1,355
		事業②	1歳6か月児健康診査:年間42回実施。 ※のべ募集人数は、対象児数だが、参加者数は参加した児。				2023	8,789	2,000	1,705
2022							8,486	2,000	1,620	
2021							8,478	2,000	1,710	
事業③		1歳6か月児健康診査事後相談:年12回実施。 ※のべ募集人数、参加者数は参加した児と保護者の計。				2023	373	240	182	
						2022	373	288	146	
						2021	373	240	168	
事業④		もぐもぐ元気っ教室:月1回、年間12回実施。 ※のべ募集人数、参加者数は児と保護者の計。				2023	101	576	473	
						2022	101	576	458	
						2021	101	576	413	
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・平成13年に開設した施設であり、開設から20年以上が経過しているため、施設の維持管理に要する修繕費等の増加が想定される。								
	対応策	・適切な施設管理のため、計画的に備品更新、及び設備・施設改修等を行っていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	・運営について、業務の公益性から民営化は適さない。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	142,758	141,948	147,321	1人当たりのコスト(円)	19,435	21,323	20,882
	施設利用率(%)	24.6	22.0	24.3	1開館日当たりのコスト(円)	667,420	663,634	691,599
	1日当たり利用者(人)	34	31	33	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

縦軸
前年収支比

横軸
前年収支比

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

縦軸
前年収支比

横軸
前年収支比

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

利用者の方

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

保健(福祉)センターについては、民間介護サービス等を利用する高齢者の増加に伴う機能訓練事業の稼働率低下、また健康相談・保健指導の訪問指導への移行などにより、利用率が低下しています。今後は、利用者団体ごとの対応を基本とし、地域の実情や利用状況を考慮する中で、類似事業との連携や関係団体とのネットワークを通じて、他施設への複合化、他施設の余剰スペースを活用した事業展開などについて検討します。

保健環境研究所については、健康危機管理上必要な検査・試験を実施するための施設として健康で安心できる市民生活を確保できるよう、適切な維持管理を継続します。

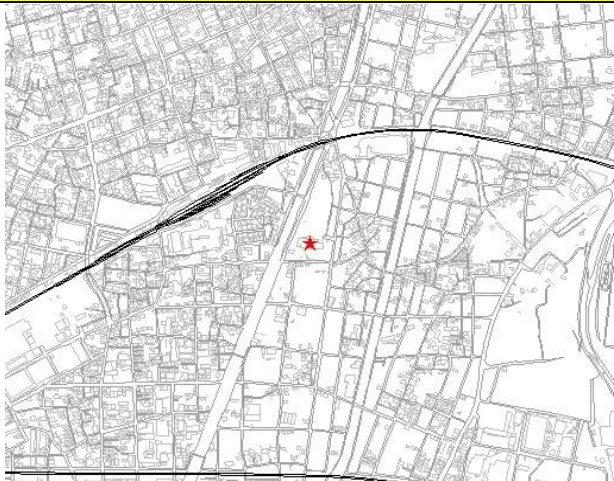
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他

当面適切な維持管理を図りつつ、今後人口減少に伴う利用状況の変化を踏まえ、周辺施設との複合化など検討する。

リストNo		09-005	施設コード	00029	
利利用用途別分類(施設分類)		保健施設			
施設名		東部保健福祉センター(いきいきプラザ天竜川)			
所在(町名・番地)		中央区青屋町300			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部健康増進課		課長名	渥美 雅人
	施設	健康福祉部中央健康づくりセンター		課長名	竹村 和枝
設置根拠(法)		地域保健法			
条例		浜松市保健福祉センター条例			
設置目的		市民の保健の向上と福祉の増進に寄与するために設置(浜松市保健福祉センター条例第1条)			
主な利用者		市民全般			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00 ～ 16:30			
建物情報	総延床面積	1,494.75	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(15値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2003/3/25			
	経過年数(主要建物)	21		代表地目(現況地目)	
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	11,900	11,900	11,900
	物件費（委託料）	5,178	5,103	5,035
	維持補修費（修繕費）	477	1,652	1,121
	物件費（光熱水費）	3,753	4,189	3,163
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	21,308	22,844	21,219
行政コスト（B－A）		21,308	22,844	21,219
収支前年比		93.28	107.66	100.04
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		8,938	8,938	8,938
利用状況	利用コマ数／年	1,881	2,179	1,043
	利用可能コマ数／年	3,444	3,402	2,639
	施設利用者数／年	7,583	8,331	7,811
	開館日数／年	246	243	242
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	259,199	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2019	いきいきプラザ天竜川外壁改修工事	27,829			
	2017	いきいきプラザ天竜川外壁タイル改修工事	1,696			
	2013	BEMS導入工事	3,270			
近隣施設						
同分類	No	施設名		圏域種別		距離(km)
その他の分類	10-012	ふれあい交流センター青龍		地域		0.0
	23-125	天竜川駅自由通路		地域		0.4
	15-114	天竜中学校		生活		0.8
	07-071	たけの子放課後児童会		生活		0.8
	15-038	和田東小学校		生活		0.8
	14-042	浜松第20分団		コミュニティ		0.9
	14-009	東消防署		地域		0.9
07-026	和田っ子放課後児童会		生活		1.0	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	09-005	施設コード	00029	所管課	本庁	健康福祉部健康増進課			
	施設名	東部保健福祉センター(いきいきプラザ天竜川)			施設	健康福祉部中央健康づくりセンター				
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	—		
	複合施設	ふれあい交流センター青龍								
施設運営分析	関連政策名	生涯にわたる健康づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		市民の保健の向上と福祉の増進に寄与するために設置(浜松市保健福祉センター条例第1条)								
		主な業務内容	健康診査、健康相談、健康教育等に関すること							
		主な利用者	市民全般							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 特に減少はしていない。								
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				ほぼ一定のニーズがあると予想される。				
	特記事項				中央区の中でも、東、南エリア住民の利用が多い。					
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
		事業①	1歳6か月児健康診査:年26回実施				2023	3,139	981	964
							2022	3,910	962	943
							2021	3,768	1,017	1,001
		事業②	親子すこやか相談:年98回実施				2023	1,994	1,176	984
							2022	2,025	1,212	1,098
2021							1,939	1,212	1,166	
事業③		2歳児歯科健康診査:年11回実施				2023	220	352	211	
						2022	259	344	233	
						2021	287	432	218	
事業④		もぐもぐ元気っこ教室:年12回実施				2023	110	480	374	
						2022	130	576	403	
	2021					121	576	357		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成15年4月に開設され、開設から20年経過しているため、修繕が必要な箇所が増加している。								
	対応策	・適切な施設管理のため、計画的に備品更新、及び設備・施設改修等を行っていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
		広域化	—	—	—	—				
民活導入	・運営について、業務の公益性から民営化は適さない。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	14,255	15,283	14,196	1人当たりのコスト(円)	2,810	2,742	2,717
	施設利用率(%)	54.6	64.1	39.5	1開館日当たりのコスト(円)	86,618	94,008	87,682
	1日当たり利用者(人)	31	34	32	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価					縦軸 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									

参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。					
	利用用途別分類毎の方向性	保健(福祉)センターについては、民間介護サービス等を利用する高齢者の増加に伴う機能訓練事業の稼働率低下、また健康相談・保健指導の訪問指導への移行などにより、利用率が低下しています。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、地域の実情や利用状況を考慮する中で、類似事業との連携や関係団体とのネットワークを通じて、他施設への複合化、他施設の余剰スペースを活用した事業展開などについて検討します。 保健環境研究所については、健康危機管理上必要な検査・試験を実施するための施設として健康で安心できる市民生活を確保できるよう、適切な維持管理を継続します。					

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
	当面適切な維持管理を図りつつ、今後人口減少に伴う利用状況の変化を踏まえ、周辺施設との複合化など検討する。						

リストNo		09-006		施設コード		00930	
利用用途別分類(施設分類)		保健施設					
施設名		細江健康センター					
所在(町名・番地)		浜名区細江町気賀305					
利用者の圏域別分類等		地域			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部健康増進課			課長名	渥美 雅人	
	施設	健康福祉部浜名健康づくりセンター			課長名	鈴木 勝己	
設置根拠(法)		地域保健法					
条例		浜松市保健福祉センター条例					
設置目的		市民の保健の向上と福祉の増進に寄与するために設置(浜松市保健福祉センター条例第1条)					
主な利用者		市民全般					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		8:30 ～ 17:00					
建物情報	総延床面積	613.00		土地情報	土地面積		0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積		0.00
	地上階数(主要建物)	1					
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			うち借地面積		0.00
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	1983/11/30			代表地目(現況地目)		
	経過年数(主要建物)	40					
用途地域		第二種住居地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	61,000	61,000	65,200
	物件費（委託料）	925	910	899
	維持補修費（修繕費）	294	29	0
	物件費（光熱水費）	19	20	20
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	62,238	61,959	66,119
行政コスト（B－A）		62,238	61,959	66,119
収支前年比		100.45	93.71	100.20
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	187
利用状況	利用コマ数/年	761	786	918
	利用可能コマ数/年	1,458	1,458	1,446
	施設利用者数/年	7,146	7,168	7,348
	開館日数/年	243	243	241
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	01-017	北行政センター	地域		0.0	
	08-053	中央幼稚園	生活		0.1	
	03-012	みをつくし文化センター	地域		0.1	
	04-024	気賀関所	地域		0.1	
	06-015	細江図書館	地域		0.2	
	04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域		0.2	
	10-014	細江介護予防センター	地域		0.2	
	15-129	細江中学校	生活		0.4	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	09-006	施設コード	00930	所管課	本庁	健康福祉部健康増進課			
	施設名	細江健康センター			施設	健康福祉部浜名健康づくりセンター				
	人員数	正規職員(人)	8	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	1			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	生涯にわたる健康づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		市民の保健の向上と福祉の増進に寄与するために設置(浜松市保健福祉センター条例第1条)								
		主な業務内容	健康診査、健康相談、健康教育等に関すること							
		主な利用者	市民全般							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないが				少子高齢化社会となり保健サービスのニーズが多岐にわたり増加する。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				同上					
	特記事項				—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況		
								のべ募集人員	参加者数	
		事業①	1歳6か月児健康診査:年間8回実施※のべ募集人数は、健診対象者数				2023	1,655	132	129
							2022	1,664	198	181
							2021	1,512	184	176
		事業②	成人健康相談:年間12回実施※のべ募集人数は、1回当たりの予定相談者数5名×開催日数				2023	132	60	21
2022							191	60	26	
2021							196	60	25	
事業③		3歳児歯科健康診査:年間6回実施※のべ募集人数は、健診対象者数				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業④		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・昭和58年竣工・開設以来、40年が経過しており、施設設備の老朽化等により修繕などの維持管理コストの増加が見込まれる。								
	対応策	・適切な施設管理のため、計画的に備品更新、及び設備・施設改修等を行っていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	・業務の性質上、民営化は適さない。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	101,530	101,075	107,861	1人当たりのコスト(円)	8,709	8,644	8,998
	施設利用率(%)	52.2	53.9	63.5	1開館日当たりのコスト(円)	256,123	254,975	274,353
	1日当たり利用者(人)	29	29	30	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

(縦軸) 前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価

参考

利用者の圏域毎の方向性

利用用途別分類毎の方向性

個別方針

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

保健(福祉)センターについては、民間介護サービス等を利用する高齢者の増加に伴う機能訓練事業の稼働率低下、また健康相談・保健指導の訪問指導への移行などにより、利用率が低下しています。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、地域の実情や利用状況を考慮する中で、類似事業との連携や関係団体とのネットワークを通じて、他施設への複合化、他施設の余剰スペースを活用した事業展開などについて検討します。

保健環境研究所については、健康危機管理上必要な検査・試験を実施するための施設として健康で安心できる市民生活を確保できるよう、適切な維持管理を継続します。

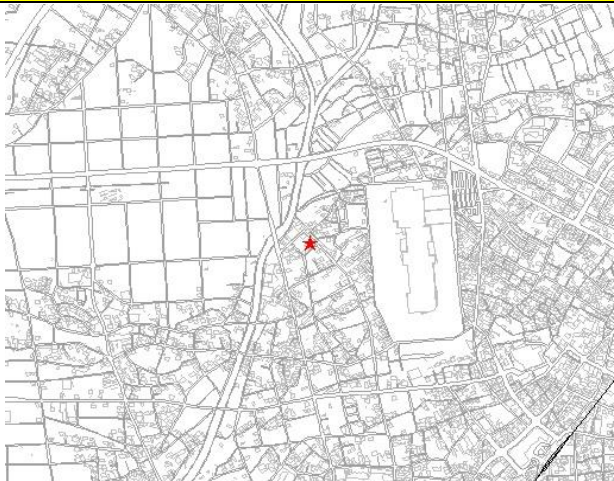
1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理を図りつつ、今後人口減少に伴う利用状況の変化を踏まえ、周辺施設との複合化など検討する。

リストNo		09-007	施設コード		02412	
利用用途別分類(施設分類)		保健施設				
施設名		浜北保健センター				
所在(町名・番地)		浜名区平口1604-1				
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	健康福祉部健康増進課			課長名	渥美 雅人
	施設	健康福祉部浜名健康づくりセンター			課長名	鈴木 勝己
設置根拠(法)		地域保健法				
条例		浜松市保健福祉センター条例				
設置目的		市民の保健の向上と福祉の増進に寄与するために設置(浜松市保健福祉センター条例第1条)				
主な利用者		市民全般				
運営形態		直営				
指定管理または包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		9:00 ～ 16:30				
建物情報	総延床面積	906.66		土地情報	土地面積	3,216.48
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	3,216.48
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1988/3/10				
	経過年数(主要建物)	36			代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	23	23	23
	収入計(A)	23	23	23
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	2,378	2,578	2,346
	維持補修費(修繕費)	1,217	809	1,737
	物件費(光熱水費)	1,245	1,574	1,146
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	4,840	4,961	5,229
行政コスト(B－A)		4,817	4,938	5,206
収支前年比		97.55	94.85	126.61
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		3,753	3,753	3,753
利用 状況	利用コマ数/年	380	44	40
	利用可能コマ数/年	729	132	40
	施設利用者数/年	5,518	5,590	2,184
	開館日数/年	184	165	70
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	90,007	91,663	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	駐車場舗装工事	7,700			
	2018	外壁改修工事	9,143			
	2015	屋上防水工事	3,698			
	2014	空調設備改修工事	28,404			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	10-016	浜北生きがいデイサービスセンター	地域		0.0	
	13-064	下小林団地	地域		0.3	
	24-043	下善排水機場	—		0.5	
	03-005	浜北文化センター	市域		0.8	
	15-075	伎倍小学校	生活		0.8	
	07-063	伎倍ひまわりクラブ	生活		0.8	
	08-073	平口幼稚園	生活		0.9	
	13-069	法師軒団地	地域		1.0	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	09-007	施設コード	02412	所管課	本庁	健康福祉部健康増進課			
	施設名	浜北保健センター			施設	健康福祉部浜名健康づくりセンター				
	人員数	正規職員(人)	17	会計年度任用職員(人)	5	再任用(人)	1			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	生涯にわたる健康づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		市民の保健の向上と福祉の増進に寄与するために設置(浜松市保健福祉センター条例第1条)								
		主な業務内容	健康診査、健康相談、健康教育等に関すること							
		主な利用者	市民全般							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は維持されている。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	現在と同様のニーズが見込まれる。							
	特記事項	—								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況		
								のべ募集人員	参加者数	
		事業①	3歳児健康診査：年間28回実施※のべ募集人数は、健診対象者数				2023	3,858	837	842
							2022	4,084	788	812
							2021	3,913	861	867
		事業②	1歳6か月児健康診査：年間24回実施※のべ募集人数は、健診対象者数				2023	3,282	703	716
							2022	3,299	731	727
							2021	3,220	801	794
事業③		2歳児歯科健康診査：2022年、2021年は12回、2020年は1回実施※のべ募集人数は、健診対象人数				2023	493	384	274	
						2022	482	344	275	
						2021	482	432	194	
事業④		母子保健関係教室の開催				2023	310	936	714	
		1歳6健診事後教室：年間12回実施、はじめてのパパママレッスン：年間6回実施、もぐもぐ元気っこ教室：年間12回実施※のべ募集人数は、参加見込み数				2022	493	744	463	
					2021	386	720	371		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・建築後30年以上が経過しており、施設設備の老朽化に伴い、修繕などの維持管理コストの増加が見込まれる。								
	対応策	・設備・備品類等、経年劣化により不具合の生じているものもあるため、職員による点検を定期的に実施し、事業に支障をきたさないよう計画的に備品の入れ替えや修繕を行い、利用者が安全で快適に利用できる施設として、これまで以上に市民サービスの向上に努めていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	○	—	—	令和2年度から障害保健福祉課に事務室の一部を貸し出し				
	広域化	—	—	—	—					
民生導入	・運営について、業務の公益性から民営化は適さない。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	5,313	5,446	5,742	1人当たりのコスト(円)	873	883	2,384
	施設利用率(%)	52.1	33.3	100.0	1開館日当たりのコスト(円)	26,179	29,927	74,371
	1日当たり利用者(人)	30	34	31	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
縦軸 利用状況・前年収支比率等による評価					縦軸 前年収支比率・市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。					
	利用用途別分類毎の方向性	保健(福祉)センターについては、民間介護サービス等を利用する高齢者の増加に伴う機能訓練事業の稼働率低下、また健康相談・保健指導の訪問指導への移行などにより、利用率が低下しています。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、地域の実情や利用状況を考慮する中で、類似事業との連携や関係団体とのネットワークを通じて、他施設への複合化、他施設の余剰スペースを活用した事業展開などについて検討します。 保健環境研究所については、健康危機管理上必要な検査・試験を実施するための施設として健康で安心できる市民生活を確保できるよう、適切な維持管理を継続します。					

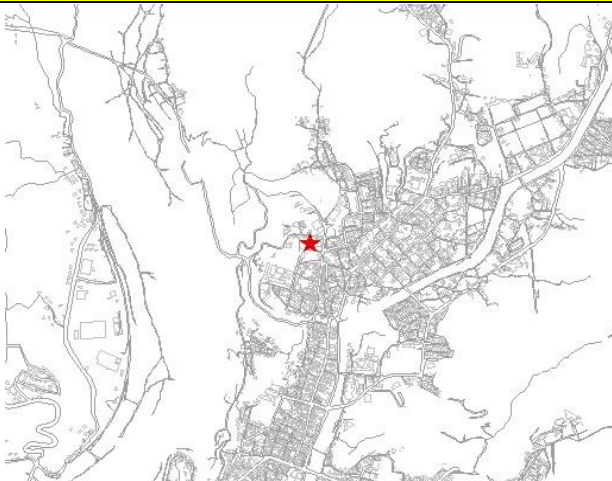
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

今後の人口減少に伴う利用状況の変化を踏まえつつ、当面適切な維持管理を図る。

リストNo		09-010	施設コード	02518			
利用用途別分類(施設分類)		保健施設					
施設名		天竜保健福祉センター					
所在(町名・番地)		天竜区二俣町二俣530-18					
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部健康増進課			課長名	渥美 雅人	
	施設	健康福祉部天竜健康づくりセンター			課長名	櫻井 政男	
設置根拠(法)		地域保健法					
条例		浜松市保健福祉センター条例					
設置目的		・市民の保健の向上と福祉の増進に寄与するために設置(浜松市保健福祉センター条例第1条)・休日における救急診療を行う。					
主な利用者		市民全般					
運営形態		直営					
指定管理または包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		8:30 ～ 17:00					
建物情報	総延床面積	1,698.11		土地情報	土地面積	3,565.02	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	3,565.02	
	地上階数(主要建物)	2					
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.77					
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00	
	建築年月日(主要建物)	1979/8/1					
	経過年数(主要建物)	44					
用途地域		第二種住居地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		201,364		—		201,364	
財源	国・県	37,421		—		37,421	
	寄付金	4,730		—		4,730	
	その他	211		—		211	
	市債	113,000		—		113,000	
	一般財源	46,002		—		46,002	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	815	856	747
	収入計(A)	815	856	747
支出 (千円)	人件費	112,000	116,200	116,200
	物件費(委託料)	2,461	2,387	2,209
	維持補修費(修繕費)	3,231	976	804
	物件費(光熱水費)	2,276	2,541	1,830
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	119,968	122,104	121,043
	行政コスト(B-A)	119,153	121,248	120,296
収支前年比		98.27	100.79	110.61
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		7,317	7,317	8,957
利用状況	利用コマ数/年	36	36	36
	利用可能コマ数/年	36	36	36
	施設利用者数/年	8,540	10,333	16,473
	開館日数/年	315	279	270
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B/S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物		その他
	121,603	59,309		—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	UD化整備工事(電気設備工事)	142	2014	改修工事(建築工事)	19,013
	2020	UD化整備工事(建築工事)	34,927	2014	改修工事(機械設備工事)	11,955
	2020	大規模改修工事(電気設備工事)	58,395	2009	屋根防水改修工事	5,775
	2020	大規模改修工事(機械設備工事)	44,461	2008	改修工事	6,206
	2020	大規模改修工事(建築工事)	83,679			
	2015	空調設備改修工事	22,739			
近隣施設						
同分類	No	施設名		圏域種別		距離(km)
その他の分類	01-024	天竜区役所南館		地域		0.0
	05-025	天竜体育館		地域		0.1
	05-030	天竜武道館		地域		0.1
	14-025	天竜消防署		地域		0.2
	01-022	天竜区役所		地域		0.2
	18-010	天竜防災センター		地域		0.3
	13-083	大谷団地		地域		0.4
	14-093	天竜第1分団横町		コミュニティ		0.5
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	09-010	施設コード	02518	所管課	本庁	健康福祉部健康増進課		
	施設名	天竜保健福祉センター			施設	健康福祉部天竜健康づくりセンター			
	人員数	正規職員(人)	15	会計年度任用職員(人)	4	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯にわたる健康づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		・市民の保健の向上と福祉の増進に寄与するために設置(浜松市保健福祉センター条例第1条)・休日における救急診療を行う。							
		主な業務内容	健康診断、健康相談、健康教育等に関すること及び、休日救急診療業務に関すること						
		主な利用者	市民全般						
		設置目的の継続性・妥当性							
			設置当初に比し社会ニーズが減少していないが各種健診、健康指導等一定の利用者がある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測 若年人口の減少に応じた乳幼児健診等受診者数の減少が予想される。							
		特記事項 —							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	1歳6か月児健康診断			2023	463	85	85
						2022	508	88	87
					2021	410	78	76	
事業②		3歳児健康診断			2023	415	90	88	
					2022	493	106	109	
					2021	407	105	102	
事業③		1歳6か月児健康診断事後教室			2023	233	—	84	
					2022	244	—	143	
					2021	226	—	225	
事業④		天竜休日救急診療所管理運営事業			2023	17,453	—	764	
				2022	7,836	—	416		
				2021	1,308	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・機能訓練棟は平成12年2月に建築されており、老朽化により修繕が年々増加する見込みがある。							
	対応策	・適切な施設管理のため、計画的に備品更新、及び設備・施設改修等を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
民活導入	・運営について、業務の公益性から民営化は適さない。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	70,168	71,402	70,841	1人当たりのコスト(円)	13,952	11,734	7,303
	施設利用率(%)	100.0	100.0	100.0	1開館日当たりのコスト(円)	378,263	434,581	445,541
	1日当たり利用者(人)	27	37	61	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。					
	利用用途別分類毎の方向性	保健(福祉)センターについては、民間介護サービス等を利用する高齢者の増加に伴う機能訓練事業の稼働率低下、また健康相談・保健指導の訪問指導への移行などにより、利用率が低下しています。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、地域の実情や利用状況を考慮する中で、類似事業との連携や関係団体とのネットワークを通じて、他施設への複合化、他施設の余剰スペースを活用した事業展開などについて検討します。 保健環境研究所については、健康危機管理上必要な検査・試験を実施するための施設として健康で安心できる市民生活を確保できるよう、適切な維持管理を継続します。					

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
	当面適切な維持管理を図りつつ、今後人口減少に伴う利用状況の変化を踏まえ、周辺施設との複合化など検討する。						

リストNo	09-011	施設コード	02812
利用用途別分類(施設分類)	保健施設		
施設名	龍山保健センター		
所在(町名・番地)	天竜区龍山町戸倉711-2		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部健康増進課	課長名 渥美 雅人
	施設	健康福祉部天竜健康づくりセンター	課長名 櫻井 政男
設置根拠(法)	地域保健法		
条例	浜松市保健福祉センター条例		
設置目的	市民の保健の向上と福祉の増進に寄与するために設置(浜松市保健福祉センター条例第1条)		
主な利用者	市民全般		
運営形態	直営		
指定管理または 包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	8:30 ～ 20:00		
建物情報	総延床面積	2,038.53	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1999/3/25	
	経過年数(主要建物)	25	
用途地域		都市計画区域外	代表地目(現況地目)
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)
設置事業費		229,361	計
財源	国・県	72,624	—
	寄付金	—	—
	その他	70,882	—
	市債	85,855	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	1,835	1,989	1,798
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	5,038	5,332	4,444
	収入計(A)	6,873	7,321	6,242
支出(千円)	人件費	2,800	2,800	2,800
	物件費(委託料)	4,945	4,753	4,908
	維持補修費(修繕費)	9,624	10,053	10,428
	物件費(光熱水費)	9,850	10,843	8,521
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	27,219	28,449	26,657
行政コスト(B-A)		20,346	21,128	20,415
収支前年比		96.30	103.49	143.99
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		16,333	16,333	16,333
利用状況	利用コマ数/年	24	24	24
	利用可能コマ数/年	24	24	24
	施設利用者数/年	15,761	17,324	16,804
	開館日数/年	365	364	364
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	63	283,491	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2017	外壁改修工事	9,630			
	2016	外壁改修	15,586			

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別
			距離(km)
その他の分類	13-079	雲折団地	地域
	18-074	旧龍山第一小学校	地域
	01-026	龍山支所	地域
	22-010	龍山歯科診療所	生活
	14-129	佐久間第2分団大嶺車庫	コミュニティ
	05-035	龍山健康増進センター	生活
	18-013	旧龍山郷土文化保存伝習施設	地域
	05-047	龍山総合運動場管理棟	小規模等
			1.5



基本情報	リストNo	09-011	施設コード	02812	所管課	本庁	健康福祉部健康増進課		
	施設名	龍山保健センター			施設	健康福祉部天竜健康づくりセンター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	—		
	複合施設	龍山デイサービスセンター, 龍山入浴施設, 龍山診療所							
施設運営分析	関連政策名	生涯にわたる健康づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の保健の向上と福祉の増進に寄与するために設置(浜松市保健福祉センター条例第1条)							
		主な業務内容	健康診査、健康相談、健康教育等に関すること						
		主な利用者	市民全般						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	高齢化の進展により、健康に関する相談指導が増えている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢化の進展により、施設との関わりを欠かせない人の割合が増えている。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
		事業① 集団がん検診	2023	701	269	95			
			2022	816	280	123			
			2021	950	284	145			
		事業② 成人健康相談	2023	20	30	2			
			2022	24	30	—			
			2021	19	30	10			
事業③ 親子すこやか相談		2023	—	30	14				
		2022	—	30	16				
		2021	—	30	30				
事業④ —		2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
	2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・平成11年3月開設の施設であり、老朽化等により修繕費が年々増加している。							
	対応策	・適切な施設管理のため、計画的に備品更新、及び設備・施設改修等を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
民活導入	・運営について、業務の公益性から民営化は適さない。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	9,981	10,364	10,015	1人当たりのコスト(円)	1,291	1,220	1,215
	施設利用率(%)	100.0	100.0	100.0	1開館日当たりのコスト(円)	55,742	58,044	56,085
	1日当たり利用者(人)	43	48	46	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸) 前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価		
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)	

参考	公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。					
		利用用途別分類毎の方向性	保健(福祉)センターについては、民間介護サービス等を利用する高齢者の増加に伴う機能訓練事業の稼働率低下、また健康相談・保健指導の訪問指導への移行などにより、利用率が低下しています。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、地域の実情や利用状況を考慮する中で、類似事業との連携や関係団体とのネットワークを通じて、他施設への複合化、他施設の余剰スペースを活用した事業展開などについて検討します。 保健環境研究所については、健康危機管理上必要な検査・試験を実施するための施設として健康で安心できる市民生活を確保できるよう、適切な維持管理を継続します。					

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
	・再検討した施設のあり方の検討結果(継続)を踏まえて、適切な維持管理を図りつつ、可能な限り周辺施設との複合化など検討する。						

リストNo		09-012	施設コード	05797		
利用用途別分類（施設分類）		保健施設				
施設名		動物愛護教育センター				
所在（町名・番地）		中央区館山寺町199				
利用者の圏域別分類等		市域		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設		
所管課	本庁	健康福祉部保健所動物愛護教育センター		課長名	鈴木 秀幸	
	施設	健康福祉部保健所動物愛護教育センター		課長名	鈴木 秀幸	
設置根拠（法）		動物の愛護及び管理に関する法律第三十七条の二				
条例		—				
設置目的		動物の愛護及び管理に関する業務を行うことにより、人と動物が共生する社会の実現を目指す。 「いのちの教育事業」を行うことにより、いのちを大切に作る心豊かな子どもと優しい市民の暮らす街の実現を目指す。				
主な利用者		犬猫の飼い主、譲り受け希望者、ボランティア団体など				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		8:30 ～ 17:15				
建物情報	総延床面積	994.87	土地情報	土地面積	0.00	
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00	
	地上階数（主要建物）	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能（1g値）（主要建物）	新				代表地目（現況地目）
	耐震工事（主要建物）	—				
	建築年月日（主要建物）	2014/3/20				
	経過年数（主要建物）	10				
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）	計		
設置事業費		314,114	—	314,114		
財源	国・県	267,934	—	267,934		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	46,180	—	46,180		
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	58,800	46,455	40,600
	物件費(委託料)	1,838	1,834	1,838
	維持補修費(修繕費)	195	25	69
	物件費(光熱水費)	2,508	2,893	2,375
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	63,341	51,207	44,882
行政コスト(B-A)		63,341	51,207	44,882
収支前年比		123.70	114.09	92.96
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		4,666	4,666	4,666
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	606
	施設利用者数/年	2,248	2,248	3,253
	開館日数/年	306	306	270
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	186,622	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その 他 の 分 類	04-004	動物園	広域		0.0	
	08-037	北庄内幼稚園	生活		0.4	
	25-049	上下水道部西営業所			0.5	
	04-005	フラワーパーク	広域		0.6	
	18-064	旧北庄内小学校	地域		0.7	
	14-052	浜松第39分団	コミュニティ		0.9	
	03-096	平松会館	コミュニティ		1.2	
	20-006	平和最終処分場	地域		1.2	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	09-012	施設コード	05797	所管課	本庁	健康福祉部保健所動物愛護教育センター		
	施設名	動物愛護教育センター			施設	健康福祉部保健所動物愛護教育センター			
	人員数	正規職員(人)	6	会計年度任用職員(人)	6	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	動物園の再生							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		動物の愛護及び管理に関する業務を行うことにより、人と動物が共生する社会の実現を目指す。 「いのちの教育事業」を行うことにより、いのちを大切にすること豊かな子どもと優しい市民の暮らす街の実現を目指す。							
		主な業務内容	狂犬病予防法及び動物の愛護及び管理に関する法律に関する業務						
		主な利用者	犬猫の飼い主、譲り受け希望者、ボランティア団体など						
		設置目的の継続性・妥当性							
			設置当初に比し社会ニーズが減少していないが、増加傾向にある						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
		令和2年に動物の愛護に関する法律が改正され、センターの設置が規定され、ニーズはより増加している							
		特記事項							
		社会のニーズに対応していく必要がある業務である							
	施設運営分析	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
事業①			いのちの教育事業(2022年13回、2023年19回)			2023	246	—	607
						2022	243	—	302
						2021	—	—	391
事業②			動物取扱責任者研修会(2022年8回、2023年11回)			2023	—	—	406
						2022	—	—	405
						2021	—	—	—
事業③			犬猫の譲渡(来館者数)			2023	—	—	2,248
						2022	—	—	2,248
						2021	—	—	3,253
事業④			—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
	2021	—				—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	現時点において問題点は感じられない。							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
	民生導入	平成30年度より動物愛護教育センター協力ボランティア活動を開始							

	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
参考指標	行政コスト/面積(円)	63,668	51,471	45,113	1人当たりのコスト(円)	28,177	22,779	13,797
	施設利用率(%)	—	—	0.0	1開館日当たりのコスト(円)	206,997	167,343	166,230
	1日当たり利用者(人)	7	7	12	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考
公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

各用途別に必要なに応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿寿命化に取り組みます。

利用用途別分類毎の方向性

青少年の家は、民間活力の更なる積極的導入を念頭に、社会ニーズや環境の変化に、より対応した運営に努め、事業の充実を図ります。
給食センターについては、学校の統廃合や校舎の改築等の状況を踏まえつつ、引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供と効率的な施設運営の両立を図ります。
その他の施設は、当面適切な維持管理に努め、大規模改修時には今後の方向性について検討します。

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
	当面適切な維持管理に努めつつ、効率的な施設運営を進める。						